

# 秋田の こくほ

統計資料は  
ホームページから

<https://www.akita-kokuhoren.or.jp>

秋田 国保

検索



2024  
No.713

10

## Contents

- 【保険者紹介】大仙市…………… 2  
花火が打ち上がるまち
- 【連合会TOPICS】…………… 4
- 【あきたをヘルスアップ】…………… 6  
大館市市民部保険課国保係  
係長 戸田 光世さん
- 【コクホ食堂】…………… 8  
今月のテーマは「ビタミンをとる」  
秋田県栄養士会 地域活動職域事業部



(写真：大曲の花火大会)

# 大仙市

## 花火が打ち上がるまち

大仙市は秋田県の内陸南部に位置し、東には奥羽山脈、西には羽田丘陵が縦走しており、その間を流れる雄物川とその支流である玉川に沿った農村地帯が四季折々に美しい表情を見せる自然豊かな田園都市です。国内屈指の米の収穫量を誇り、水稲を中心に、水田の畑利用による大豆などの土地利用型作物のほか、枝豆やアスパラガスなどを組み合わせた複合営農が行われています。

秋田新幹線や秋田自動車道などの高速交通体系が整備され、秋田空港も至近にあるため、多彩な交流が可能な立地となっており、県南地域の交通の要衝となっています。

毎年8月の最終土曜日に開催される日本最高峰の全国花火競技大会「大曲の花火」をはじめ、毎月花火大会が行われます。また、国重要無形民俗文化財「刈野の大綱引き」や国指定史跡「弘田柵跡」、国指定名勝「旧池田氏庭園」など、地域に伝わる伝統や文化、歴史といった魅力が息づいています。



国保の  
取り組み

元気できいきと  
自立した暮らしを  
目指して

大仙市

大仙市

【国保の概況】

(令和6年6月30日現在)

総世帯数…… 31,625世帯

総人口…… 74,417人

国保世帯数…… 9,703世帯

国保加入割合…… 30.7%

収納率(令和5年度決算)

・現年課税分 … 93.8%

・滞納繰越分 … 21.1%

大仙市では、市民の健康を支えるために多岐にわたる国保の取り組みを行っています。被保険者数は少子高齢化の影響で減少傾向にあり、令和6年6月末時点で1万4千82人でした。保険給付費は高齢化に伴い増加し、令和5年度は約53億円となりました。

生活習慣病や心疾患、脳血管疾患の罹患率が高く、健康診断や特定保健指導を強化しています。医療費適正化のためには、ジェネリック医薬品の使用促進や重複受診の防止、在宅医療の推進を行っています。

国保税収納対策としては、納付相談の強化、口座振替の推奨、催告・督促を実施し、収納率の向上に努めています。その他、市民の健康増進を図るため、健康教室や運動指導、栄養相談など多様な保健事業を展開しています。

保健対策シリーズ  
No.394

保健事業の  
取り組み

### 「健診」から始まる健康寿命延伸への取り組み

当市の健康課題は、メタボリックシンドローム該当者割合や高血圧症・脂質異常症・高血糖症の基礎疾患の有病者数及びその割合が国、県と比較して高い値にあることです。そこで、平成30年度からポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの両軸で健康課題について対策を講じてきました。



生活習慣病予防の指導

プログラムに準じ、生活習慣病予防および重症化対策の保健事業に力を入れてきました。

その結果、平成30年度には39・8%だった特定健診受診率は令和5年度には45・3%に増加しています。また、特定健診の受診勧奨対象者割合は血圧・脂質・血糖共に50代、60代の方を中心として減少しています。

さらに以前は服薬を拒否する方も多かったのですが、正しい知識の普及と適切な受診勧奨により、高血圧で服薬している方は平成30年度に比べ、令和5年度では1.7%増加しています。

また、医療機関で治療している方で特定健診の数値が良好な方の割合も70代の方を中心に増えてきています。

これは、特定保健指導対象者・非対象者に限らず、あらゆる機会を通じた保健指導や、未治療者・中断者に対する医療機関への受診勧奨等、また、医療機関で治療している方に対しては大曲仙北医師会の先生方と大仙市とが経年で取り組んできた連携の結果やハイリスクアプローチの効果が現れていると考えられます。



重症化対策事業の様子

生活習慣病は自覚症状が出てしまうと体の状態を元に戻すことは難しいと言われていきます。まずは自分の現在の体の状態を、健診を通じて知ってもらうこと、そして健診結果を生活習慣の改善につなげていくことがとても大切です。

そのためにも、今後も特定健診受診率向上に力を入れていく必要があると感じています。これからも市民のみなさんの繋がりを大切に、生涯を通じて健康づくりをサポートしていくことができよう、職員一同努力していきます。



国保主管課長からの  
一言

### 平均自立期間の延伸

当市第3期データヘルス計画における生活習慣病外来受診状況は、糖尿病、高血圧、脂質異常の順となっています。このような生活習慣病や生活習慣病予備群の状況を踏まえて、データヘルス計画作成においては、糖尿病の重症化予防として、早期に医療機関への受診を勧奨し、「新規の透析患者を無くすこと」を目指しています。最終年度には、「市民が生活習慣病を重症化することなく、元気でいきいきと自立して暮らせる」ことを目標とし、「平均自立期間の延伸」を掲げています。

また、平均自立期間と平均余命をみると、男性の場合、平均自立期間が78.2年、平均余命が79.5年であり、女性の場合、平均自立期間が83.8年、平均余命が86.8年と、どちらも現状では国・県平均を下回っています。現状の平均自立期間と平均余命との差が縮小されれば、医療費等の抑制に繋がり、市民が元気で生き生きとした生活を送ることが期待されます。



大仙市 市民部次長  
兼保険年金課長  
こんだ ひろたか  
今田 浩貴 氏

10月

- 17日 柔整審査会
- 21日 審査委員会(22、23、24、25日)
- 22日 診療報酬再審査部会
- 23日 審査専門部会
- 25日 審査小委員会/合同研究会
- 28日 介護給付費等審査委員会
- 29日 鍼灸等審査会/  
介護サービス苦情相談担当者研修会

11月

- 14日 柔整審査会
- 15日 国保制度改善強化全国大会
- 20日 審査委員会(21、22、25、26日)
- 21日 診療報酬再審査部会
- 22日 審査専門部会
- 25日 市町村保健活動連絡協議会研修会
- 26日 審査小委員会/合同研究会/  
介護給付費等審査委員会
- 28日 全国国保等主管課長会議/  
鍼灸等審査会

12月

- 5日 第三者行為求償事務担当者研修会
- 18日 審査委員会(19、20、21、23日)
- 19日 柔整審査会/診療報酬再審査部会
- 20日 審査専門部会
- 23日 審査小委員会/合同研究会
- 24日 介護給付費等審査委員会
- 25日 鍼灸等審査会



TOPICS 3 令和5年度 事業報告・決算認定される

【第138回通常総会】



挨拶に立つ齊藤理事長

本会は7月22日(月)、第138回通常総会を市町村会館特別会議室において開催した。開会にあたり齊藤理事長(能代市長)が挨拶に立ち、「政府においては、6月21日に『経済財政運営と改革の基本方針2024』、いわゆる骨太の方針を閣議決定した。医療保険制度においては、国保連合会に関連する事項として、審査支払機関による医療費適正化の取組みの強化について実効性が求められたところである。一方、昨年一部改正された全世代型社会保障法により、国保連合会業務運営の基本理念においてもレセプトの分析等を通じた医療費適正化に努めることとされ、より一層の取組強化が求められている。本会としては、データヘルスを活用した予防・健康づくりや重症化予防等、保険者における保健事業の支援を通じて医療費適正化に一層努めるとともに、国保制度等の基盤を支える国保総合システムや国保情報集約システムをはじめとした各種システムの安定的な運用等、保険者事務の支援に努めてまいりたい。」と述べた。

その後、古谷常務理事が業務報告を行った後、事務局から令和5年度事業報告、令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算について報告した。また、(1)令和6年度医療費支払特別会計補正予算、(2)事業運営資金積立金の処分について、(3)国保制度の改善強化に関する要望事項について審議された。

議事については慎重な審議の結果、すべて原案のとおり可決された。(議案等については、本会ホームページに掲載しています。)



事務局説明の様子

TOPICS 1 地域とともにあり続ける 地域包括医療・ケアに向けて

【秋田県国保診療施設協議会総会及び研修会】

秋田県国保診療施設協議会は9月7日(土)、総会及び研修会をアキタパークホテルにおいて、国保診療施設や保険者から21名出席のもと開催した。



小野院長による講演

開会にあたり和田会長が挨拶に立ち、国における全世代型社会保障改革に触れ、「医療従事者の不足や市町村財政の逼迫など、国保診療施設を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、秋田県の国保診療施設数も減少している。今後も地域包括医療・ケア推進の実効性が確保されるようその動向を注視していく必要がある。そして、地域医療の担い手である国保診療施設の関わりが必要不可欠であり、超高齢社会において今後果たすべき役割は非常に大きいものである。先般、「国保直診のありたい姿」が公表されたが、その総括は、「国保直診が人口減少・少子超高齢社会の中で、住民と地域、行政、医療介護福祉施設及び

全スタッフをパートナーとして、地域包括医療・ケアの実践を大切に将来へ向けて繋いでいき、地域社会の様々な変化へ適切に対応しながら、住民の命と暮らし、尊厳を守り地域と共にあり続けていく」となっており、地域住民に寄り添った地域包括医療・ケアを続けていくための道標となるものである。」と述べた。

総会における議事では、事務局より議案説明を行い、慎重な審議の結果、すべて原案のとおり可決された。

総会終了後に行われた研修会では、市立大森病院小野院長より「ポスト2025年の地域包括医療・ケア」と題し、人口動態推移と社会の変化、秋田県の人口推移と医療需要、ポスト2025年の医療提供体制のほか、診療報酬改定と国の動向について講演が行われた。

講演終了後、座長の和田会長と助言者の小野医療副部会長による進行のもと、8題の研究発表が行われ、出席者や座長及び助言者からの活発な意見交換がなされた。



左:和田 智子会長 右:小野 剛医療副部会長

TOPICS 2 より良い保健事業の実施のために

【第2回保健事業支援・評価委員会】

本会は7月23日、第2回保健事業支援・評価委員会をオンラインにて開催し、6保険者から担当者14名が出席した。

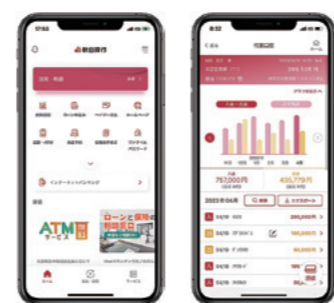
当日は、特定健診の実施率向上事業や糖尿病をはじめとした生活習慣病の重症化予防事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、秋田県国保ヘルスアップ事業などについて協議が行われたが、特に、「被保険者に精密検査や治療を促すため

の方法」と「口腔機能低下予防事業に参加してもらうための方法」については、課題としている保険者が多く、委員から様々な助言が出された。

また、委員会閉会後に実施している、保険者と事務局で行う情報交換は、他市町村の取組を紹介し合うことができる有効な機会となっている。

振込や資産管理もカンタン!  
あなたのスマホが窓口。

ダウンロードはコチラから



あきぎんアプリ

秋田銀行

# ヘルスアップ

シリーズ  
企画  
06

このコーナーでは、保険者で力を入れて取り組まれている保健事業について、担当者の方の生の声をお聞きます。保健事業をとりまく環境が大きく変化していく中で、各保険者の保健事業の取組について情報提供し、保険者の各事業に資することを目的としたコーナーです。

## 受診率向上へ繋がるような勧奨を

大館市では独自でハガキや通知、電話による特定健診の受診勧奨を行ってきましたが、受診率はなかなか上がらず平成20年度から令和2年度までの間、20%台後半で推移していました。

また、平成30年作成のデータヘルス計画において掲げた課題として、40歳～64歳の35%、65歳～74歳の15%が特定健診未受診で医療機関の受診も無い被保険者であり、生活習慣病を発症するリスクを保有しているか実態が把握できていない方々がいることが分かっています。また、40歳～64歳の46.5%、65歳～74歳の57%が特定健診未受診で医療機関受診中の被保険者であり、「医療機関を受診しているから、特定健診の受診は不



### この方にお話をうかがいました

大館市市民部保険課国保係 係長

戸田 光世さん

略歴  
平成5年 入庁 総務部財政課  
平成8年 市民部保険課  
平成18年 総務部税務課  
令和4年 市民部保険課国保係

## 特定健診の 受診率向上を目指して

～診療情報提供依頼勧奨通知で受診のきっかけづくりを～

### 普段の通院にプラスして

診療情報提供依頼勧奨通知事業は、特定健診実施期間前(6月上旬)に対象者へ診療情報提供への協力を願う通知を送り、かかりつけの医療機関を受診する際に持参していただき、医師と相談して3か月以内で特定健診の検査項目が全て揃っている場合は医療機関から診療情報提供を、揃っていない場合は特定健診を受診していただくというものです。

事業開始前に対象者が通院している市内医療機関へ事業概要の説明と協力依頼を行いました。ほとんどの医療機関から協力いただいたお返事をいただきました。また、この通知が届いた対象者が普段の通院の際に相談することで、かかりつけ医に過去の検査状況を確認していただくきっかけにもなるのではないかと考えました。

初めて実施した令和4年度は、翌年1月に特定健診未受診の方へ診療情報提供を促す形のみで通知を送付しましたが、年度末まで期間が短いことから令和5年度からは健診期間前の6月に通知を送付して、診療情報提供または特定健診受診を勧奨する形で実施しています。

スケジュールは、①4月中旬～5月中旬…国保連合会から1月に提供された「かかりつけ医対象者リスト」を使用して通知対象者の選定、委託業者が作成する勧奨通知様式の校正、②5月20日頃…委託業者へ通知印字データ(かかりつけ医療機関名、医療機関ごとの相談期間)を提供、③5月末…通知発送者確定、委託業者印刷開始、④6月10日頃…診療情報提供依頼勧奨通知発送、といった流れになっています。

通知対象者を選定する際には、前年度の「かかりつけ医対象者リスト」と他のリストを突合して、以下の順で通知除外者を削っていきながら抽出する手法を取っています。(表1)参照

名くらすいづつ増えています(令和3年度288人、令和4年度307人、令和5年度488人。増加の要因としては、3回目のハガキ発送後に電話勧奨も行っていることもあつて思っています。

### さらなる促進のための取り組みを

診療情報提供依頼勧奨通知は、医療機関からの診療情報提供数を大幅に増加させたほか、過去3年間特定健診の受診率がない方にも受診していただけたなど、特定健診受診数の増加に寄与したと思います。

さらなる診療情報提供または特定健診受診を促すために、2回目の診療情報提供依頼通知を送付した方がよかつたと感じましたので、令和6年度実施分からは「2月まで特定健診を実施している医療機関に通院している方」で、診療情報未提供者または特定健診未受診者への再通知を11月上旬に送付予定としています。

今後は、受診率の低い年代への勧奨に力を入れていきたいと考えています。特に、40歳代と50歳代の受診率向上に取り組みたいと考えていますが、忙しい年代の方々ということもあり、どのようにしたら受診促進へ繋がるのか、現在模索中です。

来年度以降の特定健診受診率目標値は、令和7年度で37%、8年度で38%と1%ずつ上げていければと考えています。引き続き、より多くの方が特定健診を受診されたり、診療情報提供へご協力いただけたらと思います。



- 1 「かかりつけ医対象者リスト」から、市内医療機関受診・特定健診の検査項目を満たす・7歳以下を条件にして抽出
- 2 国保システムの被保険者リストと突合し、国保資格喪失者を除外
- 3 特定健診除外対象者リスト(施設入所者、長期入院者、妊産婦)の該当者を除外
- 4 人間ドック時に特定健診も行うため、人間ドック助成予定対象者リストの該当者を除外
- 5 「かかりつけ医対象者リスト」は4月～9月の受診データであるため、レセプト請求データの給付一覧表から10月～翌3月の受診データと突合し、転院したと思われる対象者を除外
- 6 過去3年の特定健診受診者リストを突合し、連続受診者等を除外
- 7 昨年度まで事業を実施していなかったり、新規開業されたりした医療機関について検討し、必要に応じて除外
- 8 通知印字データ提供直前の国保資格喪失者、委託業者からの発送者リスト承諾依頼時にエラーとなった対象者を除外

〔表1〕

### 特定健診に対する意識の変化へ

「1」について最終確定された事業対象者に、通知文書と診療情報提供票・問診票を送付しています。令和4年度323名、令和5年度335名、令和6年度は252名に勧奨通知を送付しています。

通知送付後の診療情報提供者数は、令和4年度では37件+医療機関から自主的に提供のあつた4件で計41件、令和5年度では29件ありました。進行中の令和6年度分だと、6～8月提供分で17件となつています。元々、令和2年度から医療機関へ直接、診療情報提供依頼はし

R5特定健診受診状況(R5.6.20診療情報提供依頼通知発送)

受診月	通知の医療機関	別の医療機関	集団健診	計
6月(通知後)	3	0	1	4
7月	14	0	0	14
8月	12	0	1	13
9月	14	1	1	16
10月	13	0	0	13
11月	1	0	0	1
12月	2	0	1	3
計	59	1	4	64

R5.6～R5.12の診療情報提供者数  
特定健診受診+診療情報提供 93

R4特定健診受診状況(R5.1.6診療情報提供依頼通知発送)

受診月	通知の医療機関	別の医療機関	集団健診	計
1月(通知後)	11	1	0	12
2月	13	1	0	14
計	24	2	0	26

R4.7～R5.3の診療情報提供者数  
特定健診受診+診療情報提供 67

コクホ  
食堂

【協力】  
公益社団法人  
秋田県栄養士会

今月の  
テーマ

ビタミンをとる

# 柿酢あえ

1人分の  
栄養量

◎エネルギー:101kcal ◎たんぱく質:2.8g  
◎脂質:0.4g ◎炭水化物:23.1g ◎食塩相当量:0.8g

RECIPE

## 【材料2人分】

- ・平柿 ..... 2個
- ・カットわかめ ..... 1g
- ・カニ風味かまぼこ ..... 30g
- ・かいわれ菜 ..... 1/4パック
- ・きゅうり ..... 40g
- ・穀物酢 ..... 小さじ1
- ・和風顆粒だし ..... 小さじ1/5
- ・塩 ..... 少々

- 1 カットわかめは水で戻し、キッチンペーパーで水分を拭いておきます。
- 2 きゅうりは千切りにし、カニ風味かまぼこは、ほぐしておきます。
- 3 かいわれ菜は種の付いているところを切っておきます。
- 4 柿は上部をヘタ付き1cm位の所で横に切り、蓋にします。
- 5 柿の下部は縁を残し中身をスプーンでくり抜いて器にします。
- 6 くり抜いた柿が硬い時はすりおろして、柔らかい時は潰すか包丁で細かくたたいて酢と和風顆粒だしを加えて合わせておきます。
- 7 ⑥に①②③を加えて和え、塩で味を調えます。
- 8 柿の器に盛りつけます。器にした柿も頂きましょう。

※柿は追熟が早いので、柔らかくなってしまった柿がある時はお勧めです。潰して同じように作ります。小鉢に入れてどうぞ。

栄養士さんの  
ワンポイント  
アドバイス



柿には皮膚や粘膜の健康を維持してくれるβ-カロテン:ビタミンA、更に風邪予防はもちろん丈夫な血管や筋肉の形成を助けてくれるビタミンCが豊富です。旬の柿を献立に取り入れて美味しく健康を保ちましょう。

秋田県栄養士会 地域活動職域事業部  
栄養士

いまのきみこ  
今野貴美子さん

銀行のお取引は  
スマホで！

## 北都銀行アプリ

ダウンロード  
無料



アプリで簡単！

いつでも安心・便利にお取引！



残高・明細を  
いつでも  
確認

振込も  
スマホで  
便利

スマホ決済  
との連携  
も簡単

※アプリのご利用は無料です。ただし、アプリのダウンロードやお取引にかかる通信料はお客さまのご負担となります。

アプリの詳細  
ダウンロード  
はこちら▶



北都銀行